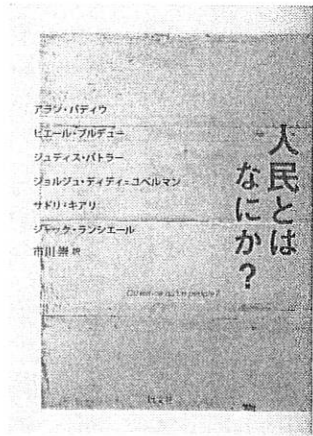


人民とはなにか？

アラン・バディウ、ピエール・ブルデュー
ほか著
市川 崇著

人民とはなにか？ 人民は国民、民族、民衆、大衆に置き換えられるのか。本書はフランスの知識人6人が、人民という主体、概念を洗い直し、その再考を促す論考集。へ人民という語が、ある種の形容詞、とりわけアイデンティティや国家に関連する形容詞を伴っているときには、われわれはこの語を警戒すべきだ（バディウ）、へ「大衆的（人民の）」という魔法の形容詞を含んだ表現は、その内容についての批判的検討を免れている（ブルデュー） 新自由主義グローバリズム下のポピュリズム、「シヤルリー・エブド」事件で顕在化した「われわれ人民」のあり方を批判的に検証する上でも示唆に富む。



B6判／221頁／2400円
以文社